

平成29年度 基本事業評価シート（平成28年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
施策 02 循環型社会の形成
基本事業 02 再資源化への取組
主管課： 生活環境課
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民，市内事業者	ごみの再資源化に積極的に取り組む。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

資源化率（搬入量ベース）					(%)	生活環境課
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）	
19.60	19.00	17.90	20.40	18.90	20.00	
向上指針	上がると良い	（状況）市内から排出されたごみ・資源物全体（集団回収含む）における資源化率（搬入量ベース）は、平成28年度17.9%となり、前年度及び基準値を下回る結果となってしまいました。 （原因）缶・生ごみは増加したものの、古紙類が162 t（13%減）、集団回収が73 t（7.4%減）と大きく落ち込み、資源物量全体で234 t（6.2%減）減量したこととごみ分が102 t（0.6%増）微増したことで1ポイント以上下がってしまいました。新聞・雑誌の発行量自体が下がっていること、また古紙類の抜き取り等も少なからず影響があったと思われます。				
対前年度	低下					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

集団回収に協力している又は取り組んでいる市民の割合					(%)	生活環境課
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）	
49.10	45.10	43.30	50.00	50.00	50.00	
向上指針	上がると良い	（状況）平成28年度指標値は前年度比で1.8ポイント減となり、基準値からも5.8ポイント下降してしまいました。 （原因）市が活動を助成する集団回収団体数は、28年度57団体と昨年度より1団体増えましたが、実施回数は526回と昨年度より12回（2%減）減ったこと、更には、アンケート結果を見ると、居住年数10年未満の方の参加率が20%台にとどまっていること（昨年度は5年以上の方は軒並み40%以上だった）が原因に挙げられます。地域コミュニティとの関わりの減少が影響していることも考えられます。				
対前年度	横ばい					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	5,089	4,922	4,545	0	0
人件費	0	0	410	0	0
トータルコスト	5,089	4,922	4,955	0	0

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

ごみ・資源物の排出に係る5種16分別の周知により、缶・ビン・ペットボトル・プラスチック製容器包装・古紙・布類等の分別徹底による資源化促進を図るとともに、回収日における抜き取り防止のパトロールの実施、更にはSNS等を活用した資源物回収報奨金事業の周知に努めていきます。 また、認知度が高くないリサイクル伝言板事業、小型家電の拠点回収の周知、浸透を図り、資源化率の向上を図ります。	推進状況	不調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]